

活動報告

団体名	NPO 法人 MAKE HAPPY
活動名	台風 15 号・19 号における被災家屋などの復旧の為の家屋の救援活動
活動期間	2019/10/12～2020/3/31
活動の成果	<p>【千葉県】</p> <p>中学生がリーダーとなりボランティアの受け入れや社会福祉協議会や被災住民さんとのやり取りを通して、次世代へのボランティア活動の幅を広げるだけでなく共同生活での学びや喜びの創造に寄与しました。</p> <p>【長野県】</p> <p>1：住民の生活再建へ向けての支援</p> <p>家財の搬出や壁や床剥がし等の技術系ニーズ、ブラッシングや消毒まで一貫して行いました。一軒あたりの時間が長くなり、予想よりも遥かに完了ニーズが少なくなってしまうりましたが、住民さんと接する時間が長くなったため信頼関係が生まれ、ご近所の方の集まりの場となりそこから地域の方のニーズを拾い出せることができ、細かなニーズを対応することができました。</p> <p>2：ボランティアの活動を支えるサポート</p> <p>ボランティアに参加する人を増やすことで住民さんからのニーズに素早く対応できると考え、長期で遠方からでも安心してボランティアに参加していただけるように拠点の2階に寝泊まりできるよう整備したり、現場で使用する工具や道具類をそろえることや、わかりやすく作業を伝えること、住民さんとの交流する時間を取ることで、可能な時間帯だけでもボランティアに参加できるようにすることで気軽にボランティアに参加しやすい態勢を整えました。</p> <p>3：コミュニティ再建に向けてのサポート（イベント、カフェの開催）</p> <p>2月に4度、マッサージや出張美容、餅つき大会やワークショップなどを企画し、のべ83名の方に参加していただきました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>いつも赤い羽根へのご寄付をありがとうございます。私たちボランティア団体は、急な災害の時にこの助成で本当に助かっています。被災された住民さんに対しより近くより力になれるように活動してきましたが、今回の令和元年台風19号災害では広域の水害で多くの方が被災しているだけでなく広範囲の災害により、災害支援のノウハウのある団体や、社会福祉協議会（ボラセン）で活動する一般のボランティアのような活動の素となる「人」や、活動を継続していくにあたり必要になる「支援金」も分散することになり継続した活動は難しい状況でした。ですが、赤い羽根に寄付していただいた皆様のおかげで助成を受け、長期ボランティアをスタッフとしてお願いできたり、道具の購入や送迎車の経費などに使わせていただくことで活動が継続することができました。</p>

(活動のようす)

